

【主担当部局：環境生活部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

年齢や障がいの有無、国籍などにとらわれず、全ての県民の皆さんが文化や地域の歴史等に学び親しみ、豊かな感性や創造性等を育みながら、心豊かな生活を送っています。

また、生涯にわたって、あらゆる世代の県民の皆さんが、あらゆる機会に学習することができ、その成果が社会に生かされています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
参加した文化活動、生涯学習に対する満足度		74.7%		75.7%		77.7%
	73.5%					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県立文化・生涯学習施設が実施した展覧会、講座、公演事業および歴史・文化資源を活用した事業におけるアンケート調査で、「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」のうち、その内容について「満足」と回答した人の割合					
3年度目標値の考え方	令和5年度の目標達成に向け、段階的に満足度を増やしていくこととし、令和2年度の目標値から1%の上昇をめざして目標値を設定しました。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県立文化施設の利用者数		152.3万人		152.6万人		153.2万人
	140.5万人					
新たな文化財保存活用地域計画のもと、地域社会が一体となって保存・活用・継承に取り組む国・県指定等文化財数		40件		80件		160件
	0件					
公民館等の社会教育活動として、地域課題の解決に向けた取組を行っている市町数		16市町		21市町		29市町
	13市町					

現状と課題

- ①「新しいみえの文化振興方針」に基づき、「人材の育成」や「文化の拠点機能の強化」など5つの方向で取組を展開し、新しい生活様式に対応しつつ、年齢や障がいの有無、国籍等に関わらず、全ての県民の皆さんが主体的に文化にふれ親しむ機会を提供するとともに、多様な分野と連携することにより、新たなみえの文化を創造することができる環境を整備していく必要があります。
- ②本県における文化財の保存・活用・継承に係る基本方針を示した「三重県文化財保存活用大綱」を策定し、市町等に周知しました。今後は本大綱に基づき、県内の文化財が適切に保存・活用・継承されるよう、文化財所有者への支援や市町への指導・助言を積極的に行っていく必要があります。
- ③「人生100年時代」の到来を見据え、県民の皆さんが人生をより豊かに過ごすことができるよう、ライフステージ等に応じた多様な学習ニーズを把握し、魅力的な学びの場や学んだ成果を発表できる場の提供など、生涯を通じて学ぶことができる環境づくりが必要です。
- ④社会教育関係者の人材育成とつながりづくりのため、地域と学校をつなぐコーディネーターの養成を行うとともに、講演や実践の発表を通して、多様な主体が集い、学び合う機会を設けています。引き続き、社会教育関係者の育成とネットワークの強化に取り組むことで、公民館等の社会教育施設における、地域課題の解決に資する場づくりをサポートしていく必要があります。
- ⑤熊野少年自然の家および鈴鹿青少年センターでは、指定管理者制度のもと、心身ともに健全な青少年が育成されるよう、感染拡大防止対策を徹底し、集団宿泊体験や自然体験活動の機会を提供しています。鈴鹿青少年センターについては、令和元年度末に示した「民間活力の導入（PPP/PFIなど）」の方向性に基づき、鈴鹿青少年の森と一体となった施設見直しの取組を進めていく必要があります。

令和3年度を取組方向

環境生活部

- ①「新しいみえの文化振興方針」に基づき、「人材の育成」については、次代を担う若い世代や文化振興を担う専門人材の育成に取り組み、また、「文化の拠点機能の強化」については、各県立文化施設が、新しい生活様式に対応した取組を進めるとともに、以下の②～⑥のとおり多彩で魅力的な公演や展示、講座等を開催しつつ、文化交流ゾーン構成施設が連携・協力して、集積の利点を生かした施設運営や事業展開を進めていきます。さらに、東京オリンピック・パラリンピックや三重とこわか国体・三重とこわか大会の機運を逃すことなく、本県の文化の魅力を国内外へ発信します。
- ②県総合文化センター（文化会館、生涯学習センター）においては、音楽や演劇、伝統芸能など、多彩で魅力的な文化芸術公演や、県内高等教育機関や博物館等と連携したセミナー、子どもたちが本物の文化を体験できるアウトリーチ事業等を実施し、県民の皆さんに多様な文化と学びの場を提供します。
- ③総合博物館においては、活動理念である「ともに考え、活動し、成長する博物館」のもと、多様な主体や利用者との連携・協創を進めるとともに、三重の多様で豊かな自然や歴史文化等をテーマにした魅力的な企画展や教育事業、移動展等のアウトリーチ活動を行います。
- ④県立美術館においては、障がいのある人も含め多様な来館者をターゲットとした展覧会や国内外の美術作品を紹介する企画展、文化・教育関係機関をはじめとする多様な主体と連携した教育普及活動等、誰もが利用しやすい美術館をめざして、展示、普及活動に取り組めます。
- ⑤斎宮歴史博物館においては、東京オリンピック・パラリンピックや三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催を記念した特別展をはじめ、さいくう平安の杜等を活用した地域との連携、歴史体験プログラム等の教育普及に取り組めます。また、発掘調査では、最初期の飛鳥時代の中枢部の解明を進めるとともに、その成果に係る新たな映像展示を作成・公開するなど、斎宮の魅力を国内外に発信します。

- ⑥県立図書館においては、広域ネットワークを活用した全県域へのサービスやより良いサービスを提供するとともに、県内図書館職員を対象にした研修を実施することにより、県内図書館の利用拡大を図ります。

教育委員会

- ⑦歴史的・文化的に価値の高い文化財を調査し、保存・継承のため指定・登録等の措置を講じます。また、「三重県文化財保存活用大綱」に基づき、市町や文化財所有者等による文化財の保存・活用・継承への取組を支援します。さらに、県民の皆さんが文化財の価値をより一層実感できるよう、三重にある文化財の素晴らしさを、パネル展示やホームページ、SNSなどを通じ、県内外に情報発信します。
- ⑧地域と学校の連携・協働を進めるため、地域で子どもの育ちを支える社会教育関係者等の研修や、情報交流・共有できる機会を提供します。また、公民館等の社会教育施設が、地域と学校の連携・協働や地域づくりの拠点となるよう、地域課題の解決に資する学びの場づくりを支援し、社会教育に携わる人材の育成に取り組みます。
- ⑨熊野少年自然の家および鈴鹿青少年センターにおいて、施設利用者の満足度向上につながるよう、新しい生活様式に対応した研修環境の構築や、施設維持を進めます。鈴鹿青少年センターについては、新型コロナウイルス感染症の影響もふまえた民間事業者の参加意欲なども確認しながら、民間活力の導入に向けて取組を進めます。

主な事業

環境生活部

- ①(一部新)文化活動連携事業【基本事業名：22701 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
予算額：(R2) 17,602千円 → (R3) 17,895千円
事業概要：「人材の育成」など「新しいみえの文化振興方針」で定める5つの方向に係る各種取組について、専門的な視点から評価を行います。また、三重にゆかりのある映画に関する偉人の顕彰や古典文学をテーマにしたシンポジウムを開催し、本県の魅力を発信します。
- ②(新)文化活動再開支援事業【基本事業名：22701 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
予算額：(R2) ー千円 → (R3) 18,519千円
事業概要：県内文化芸術団体等が感染症対策を講じながら活動再開できるよう支援するため、利用時の施設利用料や感染症対策に係る経費への補助を行います。また、市町等の文化施設の管理運営者が、新しい生活様式に対応した施設の適切な使用方法について把握し、必要な感染症拡大防止対策を講じられるよう研修会を実施します。
- ③文化交流機能強化事業【基本事業名：22701 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】
予算額：(R2) 3,129千円 → (R3) 3,000千円
事業概要：文化交流ゾーンが三重の文化振興・生涯学習・人材育成・地域づくりに一層貢献する「学び・体験・交流の場」となるよう、「文化交流ゾーン連携・経営推進会議」を活用しながら、利用者の増加に向けたゾーン全体の情報発信や連携事業に取り組みます。

④豊かな体験活動推進事業【基本事業名：22701 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(R2) 6,997千円 → (R3) 6,496千円

事業概要：次代を担う子どもたちの感性を育み、本県の文化の継承、発展につなげるため、芸術家を学校に派遣するなど、本物の文化を体験・体感する機会を提供します。

⑤文化会館事業【基本事業名：22701 文化にふれ親しみ、創造する機会の充実】

予算額：(R2) 72,554千円 → (R3) 72,554千円

事業概要：芸術性の高いオペラ、バレエ等から高い人気を誇る歌舞伎等の伝統芸能まで、多彩で魅力的な文化芸術公演やアウトリーチ活動、人材育成に取り組みます。

⑥生涯学習センター事業【基本事業名：22703 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(R2) 9,701千円 → (R3) 9,701千円

事業概要：多様化・高度化する県民の皆さんの生涯学習ニーズに応えるため、県内の高等教育機関、各種団体等との連携により、多様で時宜を得たテーマによる学習機会の提供を行うとともに、地域において生涯学習分野で活動する方々を支援するための研修会を開催します。

⑦総合博物館展示等事業【基本事業名：22703 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(R2) 60,799千円 → (R3) 45,102千円

事業概要：三重の多種多様で豊かな自然や中世の歴史・文化を紹介する魅力的な企画展等を開催するとともに、学校や地域と連携し、移動展示やフィールドワーク、アウトリーチキットの活用等のアウトリーチ活動を展開し、本県の魅力を発信します。

⑧美術館展示等事業【基本事業名：22703 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(R2) 79,350千円 → (R3) 67,819千円

事業概要：日本美術の多彩な魅力や西欧の現代美術を紹介する企画展、障がいのある人も含め多様な来館者をターゲットとした展覧会を開催するとともに、文化・教育関係機関をはじめとする多様な主体と連携した教育普及活動等に取り組むなど、県民の皆さんが美術にふれ親しむ機会を提供します。

⑨齋宮歴史博物館展示・普及事業【基本事業名：22703 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(R2) 10,330千円 → (R3) 11,057千円

事業概要：東京オリンピック・パラリンピックや三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催を記念し、平安時代のスポーツを紹介する特別展を開催するとともに、さいくう平安の杜等を活用した歴史講座等を実施し、史跡齋宮跡の魅力発信に取り組みます。

⑩みやこ齋宮を核とした観光コンテンツ拡充事業

【基本事業名：22703 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(R2) 26,333千円 → (R3) 21,062千円

事業概要：初期齋宮に係る発掘調査の成果をまとめた映像を作成し、公開します。また、若い年齢層に人気のある作家による講演会を開催するとともに、その模様をオンラインでも配信し、齋宮の魅力を国内外に発信します。

⑪図書館管理運営事業【基本事業名：22703 学びとその成果を生かす場の充実】

予算額：(R2) 156,926千円 → (R3) 255,656千円

事業概要：市町立図書館等と構築した図書館総合情報ネットワークの更新を行うほか、図書の相互貸借に係る物流ネットワークを適切に運用するとともに、図書館職員向けの研修会の開催や市町立図書館等に対して取組事例を紹介するなどの支援を行います

教育委員会

⑫文化財保存管理事業【基本事業名：22702 文化財の保存・活用・継承】

予算額：(R2) 6,909千円 → (R3) 6,171千円

事業概要：令和2年に策定した文化財保存活用大綱に基づき、文化財保護審議会の審議等を通じ、県内の貴重な文化財が適切に保存・活用・継承等の措置が図られるよう、市町や文化財所有者への支援を行います。また、国・県指定等文化財が持つ魅力の情報発信を行うとともに、適切に保存されるよう巡視を行います。

⑬地域文化財総合活性化事業【基本事業名：22702 文化財の保存・活用・継承】

予算額：(R2) 90,000千円 → (R3) 144,995千円

事業概要：国・県指定等の文化財に所有者等が行う修復等の事業について、技術的な助言と必要な経費に対する支援を行うとともに、所有者等による保存・活用・継承の取組を促進します。

⑭世界遺産熊野参詣道・無形文化遺産保存管理推進費

【基本事業名：22702 文化財の保存・活用・継承】

予算額：(R2) 480千円 → (R3) 550千円

事業概要：世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保存と活用のため、文化庁や奈良県・和歌山県および関係市町と連携した取組を行うとともに、新たな資産の基礎調査や講習会・講演会等を開催します。また、「海女漁の技術」をはじめとする無形文化遺産の魅力の発信や、全国の海女漁関係県との連携強化を進めます。

⑮埋蔵文化財センター管理運営費【基本事業名：22702 文化財の保存・活用・継承】

予算額：(R2) 6,391千円 → (R3) 8,703千円

事業概要：埋蔵文化財に係る必要な発掘調査や適切な保存管理を行うとともに、県民への公開・普及を行います。また、子どもたちが郷土への愛着を持てるよう文化財を活用した出前授業等を行います。

⑯社会教育推進体制整備事業【基本事業名：22704 社会教育の推進と地域の教育力の向上】

予算額：(R2) 1,524千円 → (R3) 3,036千円

事業概要：社会教育の振興を図るため、市町における社会教育委員や社会教育担当職員等を対象に研修や情報交換を行います。公民館等の社会教育施設において地域課題の解決に資する学びの場が創出されるよう講習等を実施するとともに、地域と学校をつなぐコーディネーターの資質向上を図る講座を開催します。また、国からの委託を受け、社会教育に関する施設や取組状況など基本的事項に係る統計調査を実施します。

⑰（一部新）鈴鹿青少年センター費【基本事業名：22704 社会教育の推進と地域の教育力の向上】

予算額：(R2) 62,659千円 → (R3) 85,141千円

事業概要：心身ともに健全な青少年を育成するため、鈴鹿青少年センターを指定管理により運営し、施設利用者の増加や対象者の拡大および社会教育の普及・振興を図ります。また、鈴鹿青少年の森と一体となって、「民間活力の導入（PPP／PFIなど）」に向けた事業者公募の手続きなどの取組を進めます。

⑱熊野少年自然の家費【基本事業名：22704 社会教育の推進と地域の教育力の向上】

予算額：(R2) 79,675千円 → (R3) 46,500千円

事業概要：自然の中で心身ともに健全な少年を育成するため、熊野少年自然の家を指定管理により運営し、施設利用者の増加および社会教育の普及・振興を図るとともに、効率的な管理運営を行います。また、経年劣化に伴う施設の維持管理のため、給水管等の改修工事に係る設計などを行います。